



作品タイトル「夏色」

作者／窪田 煉次さん(青森県立大湊高等学校 2年生 美術部)



第26号
令和5年7月号



第256回(6月)定例会議案審議	P 2
常任委員会活動報告	P 3
一般質問	P 5
審議結果および賛否一覧	P 9
第165回臨時会	P10
新議員紹介、次回定例会予定	P11
お知らせ	P12

第256回定例会

令和5年6月7日～6月30日

むつ市議会第256回定例会が去る6月7日から6月30日までの24日間の会期で開かれました。

今定例会には、議員提出議案を含む34議案9報告が上程され、審議の結果、議員提出議案1件を除き、それぞれ可決・同意・承認・報告されました。

議案審議での主な質疑

【議案第35号】むつ市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

問 脇野沢庁舎内の管理課と市民生活課を統合し総合課を新設するにあたり、職員数は減らしたのか、サービスの低下はないのか、どのような基準のもとですめられているのか。



むつ市役所脇野沢庁舎

問 管理課と市民生活課を統合することで、業務の効率化が図られ市民サービスがより向上するとの考えから総合課とした。職員数は所長を含め8人で体制は変わっていない。今後についても、行政改革推進本部の中で、各部会において市役所全体としてどのような組織体制がよいかを検討していく。

【議案第39号】むつ市営住宅条例の一部を改正する条例

問 条例改正の理由、趣旨を伺う。

答 低所得者向けの公営住宅を、中堅所得者向けの特定公共賃貸住宅としても供給できるように、みなし特定公共賃貸住宅を制度化する内容も含まれており、効果的な運用を勘案し、これまでむつ市営住宅条例とむつ市特定公共賃貸住宅条例の2つで運用していたものを、むつ市営住宅条例に一本化するものがある。

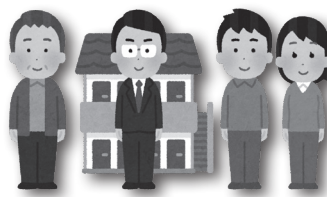
問 2つの条例を一本化する事で市が管理する住宅数の増減等はどうか、また一人暮らし及び高齢者世帯の入居傾向を伺う。

答 実際の住宅管理数の増減はないが、田名部まちなか住宅が

追加される事で管理数は増加する。また、単身世帯については令和元年度と現在を比較し、入居率は令和元年度54・7%に対して、今年4月時点では62・3%と7・6ポイント増加している。公営住宅法上の高齢者となる60歳以上の入居者の割合は令和元年度61・3%に対して、今年度64・5%と3・2ポイント増加している。

問 市営住宅品ノ木団地に住んでいる方の転居状況と引越し費用について伺う。

答 市営住宅品ノ木団地に入居されている15世帯のうち、11世帯が田名部まちなか団地に、1世帯が民間住宅に転居予定であり、残る3世帯については今後確認して対応していく。引越し費用は転居完了後に約17万円程度の移転助成金を支払う。



【議案第64号】令和5年度むつ市一般会計補正予算

問 にぎわい向上イベント推進事業実行委員会負担金について、

イベント開催事業1件とイベント補助金交付事業4件とした根拠について伺う。

答 昨年度開催され、好評だったむつゲートウェイフェスティバル2022を想定しての1件と、市内全体のにぎわい向上を期待し、むつ地区、川内地区、大畑地区、脇野沢地区からの申請を想定しての4件である。

問 イベント開催する団体は決まっているのか伺う。

答 むつ商工会議所を事務局に、公益社団法人むつ市観光協会、公益社団法人下北物産協会、むつ市の4者で実行委員会を立ち上げ、公募する。

問 補助金選考は、先着順なのか、それとも以前に補助を受けた方が優先なのか。

答 実行委員会で決定することになるとは思うが、いただいた意見を参考にしながら決定していく。

問 5件合わせて1120万円の事業費だが、どれほどの経済効果を見込んでいるのか伺う。

答 昨年開催されたむつゲートウェイフェスティバル2022での物販ブースで出展した65

社のうち43社からの報告では、2日間の売上げが1000万円で、2日間の来場者が約2万1000人の効果があり、活発な消費活動につながったと考えている。今回も来場者の満足度を向上させるイベントを開催し、昨年以上の効果を目指したいと考えている。



問 昨年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金からの支出であったが、今年度はなぜ一般財源からの支出なのか。

答 今年度は物価高騰対策支援のため、地域商品券や子育て支援、低所得者支援に交付金をあてていることから、一般財源からの支出となっている。

問 昨年度のにぎわい再生イベント推進事業予算の半額となっているが、応募が殺到した場合に新たに補正予算を組むのか。

答 多数の応募があった場合も、実行委員会でご意見を参考に協議させていただきます。

議させていただきます。

問 好評だった場合、来年度も継続していくのか、継続していく場合その基準は。

答 本年度の状況を見て、来年度以降の事業について見極めていきたい。

【報告第17号】専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて（令和4年度むつ市一般会計補正予算）

問 第3款民生費第3項児童福祉費第6目保育所費が3億4303万3000円のマイナスになった要因は。

答 保育園、幼稚園、認定こども園等の運営に要する経費について減額補正するものである。令和4年度予算の積算にあたっては、国が定める公定価格に、保育施設を利用する子どもの数を乗じ、令和3年度の実績を踏まえて算出していたが、公定価格と保育施設を利用する子どもの数が下回ったためである。

問 施設利用する子どもの数及び公定価格は想定よりどれほど下回ったのか。

答 予算積算時と令和4年度の実績とでは、保育施設を利用した

延べ人数で1310人の差があり、公定価格は一概には言えないが、おおむね10%程度下回ったと推計している。

問 第6款農林水産業費第3項林業費第2目林業振興費で森林環境譲与税基金積立金の現在の残高は。

答 令和5年5月31日現在で9796万605円となっている。

問 第8款土木費第2項道路橋りょう費第2目土木維持費9535万4000円のマイナスの要因は。

答 除排雪委託料と市道等維持事業の執行残となる。特に除排雪委託料に関しては、昨シーズンは12月から1月にかけての降雪量を考慮し、当初予算額2億5000万円に1月下旬と2月上旬にそれぞれ1億5000万円増額補正したが、2月中旬以降は比較的穏やかな降雪量が続いたため、不用額が生じたものである。

常任委員会

付託議案の主な質疑

【総務教育常任委員会】

○6月22日付託議案審査

付託された5議案、3報告について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決、承認すべきものと決定した。

議案第35号 むつ市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例

問 脇野沢庁舎を2課体制から1課体制に統合した理由について。

答 課の分け隔てなく、より効率的に、一体的に地域の事務に取り組むために改編したものである。

問 本条例の施行時期について。

答 議決後、早急に公布手続きを進め、直ちに施行したい。

議案第41号 むつ市育英基金の特別に関する条例及びむつ市学生等緊急支援金の給付又は貸与に関する条例を廃止する条例

問 支援金の給付及び貸与の実

績について。

〔答〕 給付は高校生12名に対し216万円、大学生・専門学校生86名に対し、3033万円であり、貸与は高校生からは申請が無く、大学生・専門学校生19名に対し663万円である。

〔問〕 条例廃止の背景には経済状況が改善されたという考えがあるのか。

〔答〕 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行され、経済状況も改善されつつあると認識している。

〔問〕 返還の猶予について。

〔答〕 学校卒業後、1年を経過した翌月から返還が始まることとなつているが、疾病やその他特別な事情により返還が困難な場合は、相当の期間、返還を猶予するとの条例の規定による対応は可能である。

報告第65号 工事請負契約について（仮称）むつ市防災食育センター建設工事

〔問〕 財源の割合について。

〔答〕 防衛省からの補助金が4分の3、残りが市の負担である。

〔問〕 衛生管理における異物混入

等のリスクについて。

〔答〕 一元管理できるメリットを活かし、事故がないよう努めていく。

〔問〕 現段階で想定している運営方法及び従事者数について。

〔答〕 直営、委託及び指定管理による方法を含めて、今後検討していく。また、センターの収容能力を鑑み、30名前後の雇用となる見込みである。

【産業建設常任委員会】

○6月22日付託議案審査

付託された2議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

○所管事務調査

・ふるさと納税の現状と今後の取り組みについて

【民生福祉常任委員会】

○6月22日付託議案審査

付託された5議案、1報告について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決、承認すべきものと決定した。

議案第36号 むつ市国民健康保険条例の一部を改正する条例

〔問〕 減免申請の対象期間を、令和5年9月30日まで延長するにあたり、対象となる人数は。

〔答〕 令和4年度に遡って資格を取得した方が対象なること、また減免の要件があることから対象者は限定的になる。

議案第37号 むつ市介護保険条例の一部を改正する条例

〔問〕 減免申請の対象期間を、令和5年9月30日まで延長するにあたり、対象となる人数は。

〔答〕 現在のところ該当者はいない。

議案第38号 むつ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

〔問〕 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の定義について。

〔答〕 特定教育・保育施設は幼稚園、保育園、認定こども園を指し、また特定地域型保育事業は定員が少ない小規模な保育事業や、事業所内の保育事業等を指している。

議案第42号 むつ市事業所における感染症対策の推進に関する条例を廃止する条例

〔問〕 むつ市感染症対策あんしん飲食店等認定制度の総括について。

〔答〕 制度の認定を受けた事業所は、令和2年度から令和4年度までの合計で1124件となり、各事業所において、本条例に基づいた感染対策に取り組んでいただいたことにより、市民の皆様が安全・安心を届けることができ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に一定の効果があったものと認識している。

〔問〕 あんしん飲食店等認定制度終了後の認定事業所に配付したステッカー等の取扱いについて。

〔答〕 各事業所において廃棄していただくよう依頼する予定である。

○所管事務調査

・香書の現状について

・（仮称）下北地域新ごみ処理施設完成後のごみの収集等について

ここが聞きたい!

一般質問

議会ホームページでは、紹介できなかった質問内容や本会議での質問のようす(音声)を公開しています

一般質問のページは



こちらから↑

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。各種の行政課題を取り上げて3日間にわたり12人の議員が活発な論戦を展開しました。



自民クラブ
濱田 栄子

問

地域経済活性化について。

漁業振興については、青森県が主体となり藻場ビジョン協議会を設置している。当市も構成員として今後も関係者と一体となり沿岸域再生を推進していく。

農業振興については、本年4月から農業経営基盤強化促進法が改正になり、地域計画を令和6年度までに策定することが法制化された。今後新規就農者や規模拡大を希望する農業者に対して、円滑に農地を貸し付け出来る体制を構築し農業振興に努めていく。

観光業振興については、地域の魅力を全国、世界へ発信し「稼げる観光地域」を目指していく。

問

歴史・文化・芸術の発信と魅力ある街づくりについて。

総合経営計画(後期)において歴史資料館の設置が検討されている。今年度は他地域の施設見学を予定している。



自民クラブ
佐藤 広政

問

むつ市と自衛隊の繋がりを理想と考えているのか。

自衛隊とは明治35年の海軍大湊水雷団創設以来、強い絆で結ばれている。隊員の皆様には、むつ市での勤務が誇りとなるような地域でありたいと考えており、市民にとっては隊員の皆様の日々国防に邁進されていることに敬意と感謝を抱き、同じむつ市民として喜びを分かち合える関係を築いていきたいと考えている。

問

下水道事業工事休止について。

下水道事業は、財政負担が極めて大きく、資材高騰や電気料金の高騰などが長期化していることで今後もさらに想定を超える経費の増大が懸念される。むつ市公共事業再評価委員会の答申をもとに今後の下水道事業の方向性を判断する、下水道が整備された地域には接続をお願いしていく。



公明・自由
住吉 年広

問

持続可能なまちづくりに向けた「SDGs」未来都市の実現にむけて。

市では、商工会議所と共に発起人となり、令和4年5月23日に「むつ市地方創生SDGs推進協議会」を設立し、市民の皆様へわかりやすくSDGsを発信しながら取組へ参加を促し、地域社会の持続的発展につなげる活動に取り組んでいる。

問

交通事故安全防止対策について。

自転車の保険加入については、市内小中学校や公共施設でのポスター掲示、広報誌による周知、街頭活動等各種交通安全啓発時に、加入呼びかけを行っている。また条例改正等により自転車の安全な利用を促進していくことは大変有効であり、先進事例等を踏まえながら研究していきたいと考えている。



無会派
工藤 祥子

問 学校給食無償化が広がっている。市長のマニフェストにもあり、早期に実現すべき。

答 給食費無償化については、今後、既存事務事業の見直しも含め、市全体での事業の最優先度及び財源の確保について検討会を立ち上げて判断していきたいと考えている。

問 むつ市湯野川温泉濃々園の整備計画である「リボン基本構想」について。

答 湯野川温泉濃々園は老朽化により令和3年7月に営業を停止していた。その後コロナ禍を踏まえた新しい観光のあり方について専門家も交えて検討し、翌年に任意団体「リボン川内実行委員会」も立ち上がった。地元住民の求める公衆浴場機能と共に、新しい観光の拠点施設をも踏まえた基本構想を取りまとめた。今年度は実設計、来年度以降は解体工事や新築工事へと取り組んでいく。



無会派
杉浦 弘樹

問 減少する漁業者の確保対策と見解について。

答 重要なことは、漁業収入で生計を立てることができるところであり、これまで市では、稚ナマコ等の種苗放流や水産基礎整備の支援、水産物の販路拡大等、漁業所得の向上にできる限り努めてきたところである。今後は、漁協側と受け入れについて、合意形成を図るとともに、効果的施策を研究してまいりたい。

問 高校通学費支援について。

答 この問題は、県が取り組むべき課題と認識しているが、市では子育てや教育に対し、経済的負担を感じることがあつてはならないと考えており、今後は、財源確保について、市の既存事務事業の見直しや事業優先度の検討会を立ち上げて判断してまいりたいと考えている。また、県とは連携を図る中で、通学費支援について訴えてまいりたい。



自民クラブ
浅利竹二郎

問 第十九代むつ市長として、むつ市政を牽引するにあたり、決意の一端を伺う。

答 私の政治信条は、「日月無私照（じつげつにししようなし）」。「これは、「公平に全てを照らす太陽と月のように、人も等しく恩恵を受けるべき」を意味する孔子の言葉である。すべての子ども達も含めて全世代の市民の皆様に対して責任を果たすことが私の政治姿勢であり、市民の皆様への決意でもある。

問 県内自治体の合葬墓整備状況を伺う。

答 近年、少子高齢化の進展に伴い、お墓の管理や継承が困難となる事例が増加しているほか、お墓に対する価値観の多様化と子ども達に負担をかけたくないとの理由から、全国的に合葬墓の設置が広がりを見せている。こうした現状を踏まえ、先進地を視察し、諸課題について研究する。



公明・自由
鎌田ちよ子

問 グリーンライフ・ポイント事業の導入について。

答 環境配慮製品やサービスを消費者が選択した場合ポイントが付与され、環境に配慮する行動の動議付けとして有効と考える。スーパーでのプラスチック製品の辞退や賞味期限間際商品の購入、省エネ家電の購入の際にポイントを付与している自治体があり、制度導入を民間事業者等に情報提供し、対応したい。

問 乳幼児健診の現状について。

答 3歳児健診のスポットビジョンスクリーナーによる屈折検査は令和4年度に導入。受診者297名に対し、眼科の要精密検査数23名。受診者全体に占める割合7.7%導入前の令和3年度受診者361名に対して、要精密検査数11名。導入後の割合が約2倍、健診制度向上により子どもの目の健康を守ることにつながるものと考えている。



市誠クラブ
佐賀 英生

問 今後の防災訓練の予定と、大畑地区の児童・生徒の防災訓練及び災害対策について。

答 令和5年度のむつ市総合防災訓練については、令和5年10月6日金曜日の開催に向けて準備を進めている。

問 不要となった備品の処理と利活用について。

答 備品の取り扱いについては、出納機関において、物品が不要又は修理しても使用が不可能かを判断し、その後、財務部長が決定を行ったうえで、物品を売却するか廃棄するかを判断している。

現状、判断する不用品の大半は使用が不可能なものが多く廃棄している。



未来への轍
富岡 直哉

問 市役所内の組織改革と公約に掲げた政策の進め方について。

答 市長就任後、直ちに次年度に向けた組織機構の検討を指示したところであり、副市長を本部長とした行政改革推進本部会議を6月15日に開催し、検討部会の設置、今後の方針等を協議している。また、むつ市の平均寿命は、全国の市区町村の中で、男性がワースト7位、女性がワースト5位とシヨッキングな数字が発表されたことから、全庁から選抜した中堅職員で組織する「スマート・ウェルネス・ラボ」を立ち上げ、健康寿命延伸に向けた取組を開始する。

政策の実現に向けた取組を進める上で、今後、既存事業の見直しも含め、市全体での事業の優先度及び財源の確保について、検討会を立ち上げて、判断していく。



市誠クラブ
東 健 而

問 人口減少の認識について。

答 人口減少については、日本全国各地で抱えている問題であり、その課題としては仕事と子育てを両立できる環境整備の遅れや結婚・出産に対する価値観の変化、子育てに対する負担感の増大を背景とした未婚化・晩婚化の進展や出生率の低下等がある。又当市ではこれらの課題に加え、県庁所在地や主要な鉄道駅、空港から離れている半島地域特有の課題も抱えている。

問 郡部の人口減少について。

答 旧町村部では、予測値をやや上回るペースで人口減少が進んでいると認識しているが、あらゆる世代の皆さまと直接対話し、「この町で生まれてよかった」と感じられる施策に取った」と感じられる施策に取り組み、皆様の想いをつなぎながら、人口減少を乗り越えるために必要なことで有ると考えている。



市誠クラブ
野中 貴健

問 学生の通学費について。

答 昨年来の物価高騰の情勢と相まって、高校通学費を負担している家庭にとっては、負担感を感じざるを得ない状況ではないかと推察される。

問 今後の地域文化・スポーツクラブについて。

答 6月8日現在、2009名の生徒がクラブ活動に参加している。今後の地域移行のスケジュールについては、中体連の参加基準の概要が決定するの、1月から2月であるため、現在、来年から移行する競技等については、決定していない。

市としては、子育ての負担となつては、今後の地域移行の問題については、今後、既存事務事業の見直しも含め、市全体での事業の優先度及び財源の確保についての検討会を立ち上げ、マインバーカードと紐づける等の手法も含め、判断して参りたいと考えている。



未来への轍
村中 浩明

問 日本ジオパーク全国大会下
北大会開催及び、海上自衛隊大
湊地方隊との連携協定につい
て。

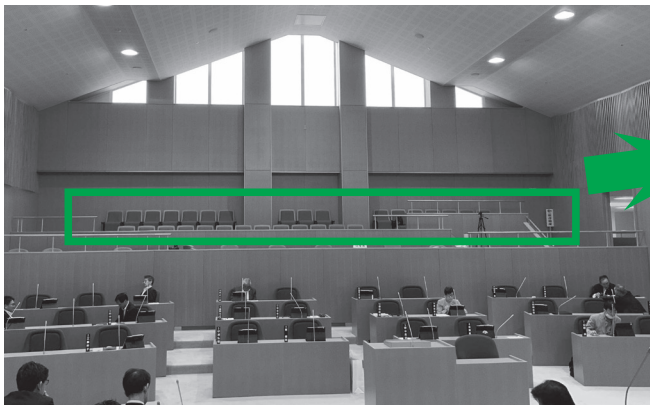
答 令和6年度に開催される全
国大会では地域経済の活性化
及び地域学習の促進が期待さ
れ、宿泊・交通・食事等、多様
な方面での消費拡大はもちろ
んのこと、全国規模の大きな大
会を官民協働で取り組むこと
は、大きな実績となる。また、
ジオパーク地域と海上自衛隊
が連携協定したことは全国初
の事例であり、日本、世界にア
ピールしていける。

問 地域おこし協力隊について。
地域活力の推進及び強化を
図ることを目的とし、活動エリ
アや実施事業の拡大を視野に入
れ、協力隊員の増員についても
検討し、川内・脇野沢地区の地
域資源を活用したイベントや観
光アクティビティの開発等を通
じて、地域経済の活性化に努め
ていく。

議会を傍聴してみませんか

こちらが傍聴席で、席数は30席です。

※これまで新型コロナウイルス感染症対策のため、席数を制限していましたが、令和5年5月開催の第165回臨時会より平常どおりの席数で運営しています。



本会議は誰でも傍聴することができます。

市民の代表である市議会議員と市当局との議論のやり取りを、直接見たり聞いたりすることができますので、傍聴は議会活動や市政方針を知るうえで最も身近な方法といえます。

- ・傍聴される方は、本会議当日に議会事務局にて傍聴券の交付を受けてください。
- ・交付を受けた方は、傍聴券に記載された日に限り傍聴することができます。
- ・傍聴を終え、退場する際には傍聴券を返却してください。

コミュニティラジオ(FMアジュール)放送や会議録もご利用ください！！

議会の本会議や特別委員会はコミュニティラジオ放送にて生放送を行なっていますので、議会傍聴の時間がないときなどには、FMラジオやスマートフォンなどで、周波数を76.2メガヘルツに合わせるとすぐに聴くことができます。

また、ラジオ放送はインターネット配信もされていますので、お持ちのパソコンやスマートフォンからFMアジュールのトップページ【インターネットサイマル放送】から聴くことができます。

あわせて、議会ホームページでは本会議や特別委員会の会議録を公開していますので、過去の会議でのやりとりが知りたいときなどにご利用ください。

会議録のページは



こちらから↑

第 256 回定例会審議結果・賛否一覧表

【全会一致で可決・承認・同意した議案等】

※『報』→ 報告

議案	議案の名称	議決結果
34	むつ市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決
35	むつ市人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	可決
36	むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決
37	むつ市介護保険条例の一部を改正する条例	可決
38	むつ市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決
39	むつ市営住宅条例の一部を改正する条例	可決
40	むつ市職員の特殊勤務手当の特例に関する条例を廃止する条例	可決
41	むつ市育英基金の特例に関する条例及びむつ市学生等緊急支援金の給付又は貸与に関する条例を廃止する条例	可決
42	むつ市事業所における感染症対策の推進に関する条例を廃止する条例	可決
43	財産の取得について(消防ポンプ自動車)	可決
44	市道路線の変更について	可決
45	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(柴田峯生氏)	同意
46	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(村口利光氏)	同意
47	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(杉山重一氏)	同意
48	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(柏谷均氏)	同意
49	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(林忠久氏)	同意
50	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(齊藤榮佐男氏)	同意
51	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(坂本正一氏)	同意
52	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(畑中光政氏)	同意
53	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(立花幸雄氏)	同意
54	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(鴨田輝雄氏)	同意

議案	議案の名称	議決結果
55	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(西村一松氏)	同意
56	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(水戸隆壘氏)	同意
57	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(佐々木貢氏)	同意
58	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(中村貞幸氏)	同意
59	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(嶋影秀子氏)	同意
60	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(中嶋寿樹氏)	同意
61	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(浜田昭彦氏)	同意
62	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(姥名修一氏)	同意
63	むつ市農業委員会の委員に任命する者につき同意を求めることについて(新堂真氏)	同意
64	令和5年度むつ市一般会計補正予算	可決
65	工事請負契約について((仮称)むつ市防災食育センター建設工事)	可決
報9	令和4年度むつ市一般会計繰越明許費繰越計算書	報告のみ
報10	令和4年度むつ市一般会計事故繰越し繰越計算書	
報11	令和4年度むつ市水道事業会計継続費繰越計算書	
報12	令和4年度むつ市下水道事業会計予算繰越計算書	
報13	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市税条例の一部を改正する条例)	承認
報14	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	承認
報15	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	承認
報16	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	承認
報17	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和4年度むつ市一般会計補正予算)	承認

【賛否が分かれた議案】

議員提出議案	請願の名称	審議結果	市誠クラブ		自民クラブ				未来への轍		公明・自由		新しい風		会派に属しない議員								
			佐賀	東中	野中	浅利	佐々木	大瀧	濱田	佐藤	藤田	岡崎	佐々木	富岡	村中	鎌田	白井	住吉	山田	富岡	井田	佐藤	工藤
3	むつ市議会議員の請負の状況の公表に関する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
4	インボイス制度の実施中止を求める意見書	否決	●	○	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○

※議決日は議会最終日の6月30日

(ただし、議案第45～64号、報告第9～12、17号は6月22日に議決)

※○は賛成、●は反対、『欠』は欠席または採決の際に不在の者、議長(大瀧次男)は採決に加わらない

★なお、各議員の会議への欠席状況についてはむつ市議会ホームページに掲載しています →→→



第165回臨時会

むつ市議会第165回臨時会が去る5月12日に開かれ、上程された1議案5報告は審議の結果、全会一致で可決・承認・報告されました。

【報告第33号】令和5年度むつ市一般会計補正予算

(6億9818万2000円の増額補正)

◎歳入

◆デジタル田園都市国家構想交付金
(1億5478万1000円)

◆地方創生交付金
(5億2203万6000円)

◆民生費負担金
(187万5000円)

◆財政調整基金繰入金
(1949万円)

◎歳出

◆むつ市住民パスポートで暮らし快適事業費
(1億7025万9000円)

◆電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付事業費
(低所得者世帯)
(3億1477万2000円)

◆電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付事業費
(子育て世帯)
(3865万1000円)

◆災害弔慰金
(250万円)

◆むつ市プレミアム付き商品券事業費
(1億7200万円)

問 経済対策のポイントについて。

答 給付という部分では、事業者の皆様の経営の下支え、消費という部分では、全ての市民の皆様が一定の恩恵を受けながら、経済回復に向けていく道筋をつけることだと思っている。

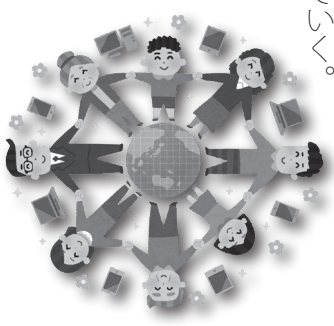


雇用の方は、残念ながら離職される予定の方々に対して再就職の支援、加えて企業誘致を全面的に進めることによって日本の中でのむつ市の役割を提示し、短期的な対応から中長期的なまちづくりのための補正予算になっている。

問 スマートシティ構想推進事業について。

答 地域に様々なデジタルサービスやデータ連携基盤の導入と、地域情報やサービスを利用者個人のニーズに合わせて提供する地域ポータルを導入するものである。この整備により、データに基づいた政策や企業誘致が事業展開できるものと考えている。さらにこのデジタル化、そしてスマートシティを加速化させるためには、地方創生臨時交付金も活用していくこととしている。

むつ市のスマートシティ構想は、国のデジタル田園都市国家構想への位置付けを考慮しており、今年度分として今回の交付以外で2億3000万を現在獲得している状況であり、こうした予算と合わせて構想全体を推進していく。



第165回臨時会審議結果・賛否一覧表

【全会一致で可決・承認・同意した議案等】

※『報』→報告

議案	議案の名称	議決結果
33	令和5年度むつ市一般会計補正予算	可決
報4	専決処分した事項の報告について (工事請負契約の一部変更契約について)	報告のみ
報5	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和5年度むつ市一般会計補正予算)	承認

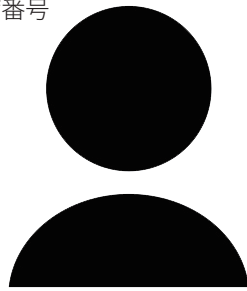
議案	議案の名称	議決結果
報6	専決処分した事項の報告について (和解及び損害賠償の額を定めることについて)	報告のみ
報7	専決処分した事項の報告について (和解及び損害賠償の額を定めることについて)	報告のみ
報8	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて (令和5年度むつ市一般会計補正予算)	承認

新議員を紹介します

むつ市議会では、議員の辞職により3名が欠員となっていたましたが、令和5年4月23日に行われた市議会議員補欠選挙で新しい議員が決まりましたのでお知らせします。

なお、今回当選した議員の任期は、令和5年10月15日までです。

議席番号



氏名(年齢 7月25日現在)
所属会派名、当選回数
所属委員会

7番



山田 伸(61歳)
新しい風、1回
民生福祉常任委員会
広報広聴委員会

8番



井田 茂樹(55歳)
新しい風、1回
産業建設常任委員会
議会運営委員会

13番



藤田 鉄哉(55歳)
自民クラブ、1回
総務教育常任委員会

次回定例会の予定 8月22日(火)～9月15日(金)

日	月	火	水	木	金	土
8/20	21	22 議会運営委員会 本会議(開会日) 常任委員会	23 議会運営委員会 議案熟考	24 議案熟考	25 議案熟考	26
27	28 議案熟考	29 議案熟考	30 本会議(一般質問)	31 本会議(一般質問)	9/1 議案熟考	2
3	4 本会議(一般質問)	5 本会議(一般質問)	6 本会議 常任委員会 決算審査特別委員会	7 常任委員会 決算審査特別委員会	8 決算審査特別委員会	9
10	11 決算審査特別委員会	12 議事整理	13 議事整理	14 議事整理	15 議会運営委員会 本会議(閉会日)	16

全国市議会議長会第99回総会において、

佐々木 肇 議員が議員在職 40 年以上の特別表彰 を、

東 健而 議員、佐賀 英生 議員、岡崎 健吾 議員が議員在職

15 年以上の一般表彰 を受賞し、今定例会の閉会日である6月30日の本会議冒頭に、表彰状の伝達が行われました。



佐々木 肇 議員



東 健而 議員



岡崎 健吾 議員



佐賀 英生 議員

むつ市議会の詳しい情報は、「むつ市議会ホームページ」をごらんください。

また、「むつ市議会公式フェイスブック」でも情報をお伝えしていますので、あわせてごらんください。

むつ市議会

検索



ホームページ

公式フェイスブック



報 職 会
広 委 員 会

委員長	副委員長
住吉 年広	富岡 直哉
委 員	
杉浦 弘樹	野中 貴健
山田 伸	村中 浩明
濱田 栄子	佐藤 広政

暑中お見舞い申し上げます。
4月、山本新市長の誕生、6月は宮下新知事の誕生と、むつ市にとりまして、大きな変化の年となりました。若きリーダーたちのご活躍に市民の皆様とともに、心からご期待申し上げます。
また、私たちに大きな悲しみと打撃を与えた新型コロナウイルス感染症も5類に移行され、徐々に日常生活を取り戻しつつあります。ねぶた祭りや花火大会、地域のお祭り、家族の帰省など、心弾む季節となりました。状況に応じた感染対策は必要と思われませんが、皆様にとりまして今年の夏が、楽しく笑顔あふれる季節となることを願っております。
(濱田 栄子)

編集後記